

ORBCOMM®傘下の SKYWAVE™は、リモートミッション クリティカルな IoT アプリケーションを実現する新しい ハイブリッド衛星セルラーモジュールを発売しました。

2026 年 1 月 15 日

バージニア州スターリングー 2026 年 1 月 15 日ー ORBCOMM®傘下の SKYWAVE™は本日、衛星およびセルラーネットワーク全体でシームレスなグローバル接続を提供し、ミッションクリティカルな産業用アプリケーション向けの直接デバイス接続(D2D)機能を提供するハイブリッド IoT モジュール、ST4000 の発売を発表しました。

ST4000 は、IoT ソリューションプロバイダーが抱える根本的な課題、すなわち、複数の接続技術を管理する複雑さとコストを伴わずに、場所を問わず稼働する信頼性の高いシステムを効率的に構築するという課題に対処します。衛星通信範囲とセルラー通信の柔軟性を単一モジュールに統合することで、SKYWAVE は個別のデバイス SKU の管理やアプリケーションへのカスタムフェイルオーバーロジックの組み込みを不要にし、複雑さを軽減します。これにより、ST4000 は 1 台で、都市部の配送センターから遠隔地の工場まで、運用地域全体をカバーできるようになりました。

ORBCOMM の産業用 IoT ソリューション実現の専用ブランドである SKYWAVE は、デバイス、衛星、セルラーネットワーク、アプリケーションの統合プラットフォームを通じて、地球上のあらゆる遠隔資産にミッションクリティカルな可視性を提供することに重点を置いています。

「IoT において、複雑さは不要なリスクをもたらします。」と、SKYWAVE 社長のデイブ・ロスコー氏は述べています。「ST4000 は、衛星通信とセルラー通信の機能を 1 つのデバイスに統合するために開発されました。これにより、パートナー企業は、従来の両方の技術管理に伴う複雑さとコストを削減しながら、ハイブリッド技術のメリットを享受できるようになります。」

すでに十数社を超えるソリューションプロバイダーが、中断のないデータ収集を必要とする環境監視システム、セルラーギャップによって死角が生じるリモート資産追跡、接続障害によって保守の判断が遅れるエネルギーインフラストラクチャ管理など、さまざまな産業用アプリケーションに ST4000 を導入しています。

SKYWAVE Connect エコシステムは、500 社を超えるグローバルパートナーのネットワークに、高価値でデータ量の少ないミッションクリティカルなアプリケーション向けのインテリジェントなインフラストラクチャを提供することで、デジタル変革を加速するという同社の使命をサポートします。

ORBCOMM®グループ傘下の SKYWAVE™について

ORBCOMM®グループ傘下の SKYWAVE™は、IoT ソリューション実現技術のグローバルプロバイダーです。ソリューションプロバイダー、システムインテグレーター、OEM 各社が、衛星およびセルラーマネージ

ド IoT ネットワークと包括的なアプリケーション実現プラットフォームを通じて、顧客にサービスを提供できるよう支援しています。高信頼性かつデータ使用量の少ないソリューションを実現するために、専用デバイス、データ自動化、接続サービスなど、完全に統合されたエコシステムを提供しています。SKYWAVE は、運輸、農業、石油・ガス、海運業界のミッションクリティカルなアプリケーションを IoT で支える場所です。

<https://www.orbcomm.com/>

オーブコムメディア連絡先
オーブコムジャパン問い合わせ窓口
03-3526-6320
mail@orbcomm.co.jp